

## －成長の日々・林間学舎－

林間学舎が終わりました。大きな事故やケガなく終わり、ホッとしています。3日間の活動、かなり疲れたと思いますが、疲れは取れましたか？

この3日間、みなさんはたくさんのことを学びましたね。初日から山登りでしんどいことも多くありましたが、弱音を吐かず、乗り切ることができました。キャンプファイヤーをはじめ、様々な行事においても、みなさんの明るい笑顔があふれていました。課題も多く見つかりました。たくさん注意されることもありましたね。それぞれが意識し、最終日には、リーダーを中心によくまとまり、クラスの団結力も高まっていきました。お互いに協力しながら、少しずつ成長していく、たいへん充実した林間学舎でした。

閉会式で、「協力する」ことについて話をしました。「協力」というのは、リーダーたちを「手伝う」とか頼まれたことを「やってあげる」ということではありません。自分たちのために働くリーダーたちと同じ目的を持って、同じ気持ちで、行動することです。そして、リーダーと同じ気持ちで動く人が多くなれば、それこそが集団の力を強くしていきます。みなさんの力はこんなものではありません。まだまだこれからです。自分の感想を持つだけでなく、この林間学舎で教えてもらったことは何か。何に気づいたか、ここで、学ばなければいけないことは何であったかをしっかりと振り返ってほしいと思います。そして、これからの生活に活かしていくことを期待しています。

## 《学年委員のあいさつより》

林間の3日間でよくなっていると思ったところは、話を聞けるようになったところや周りを見ることができるようになったことだと思います。1日目や2日目は先生に同じことを何度も言われていることが多くありました。しかし、3日目になると、完璧とは言えないけど、少なくなったと思います。また、先生が前に立ったら、学年委員だけでなく、班長や周りの人が、しっかりと呼びかけができるようになりました。それも、注意してくれる人の数がだんだんと増えていったように思います。これは、周りを見て行動できるようになった証だと思います。でも、もっと早くできると思うし、全員が周りを見ていけば、大きな声で誰かが注意しなくても静かになると思います。

オリエンテーリングでは、自分勝手な行動を取る人もいて、まだまだ課題は多いなと感じました。この林間を通していろいろな課題が見つかりました。1人1人が集団で行動するという意識を高く持って取り組んでいきたいです。そして、全員が周りを見て行動でき、人の話を聴ける、そんな学年を目指してがんばっていきましょう。

千々松 実咲

## 《安達先生より一言》

3日間お疲れ様でした。中学校生活初めての宿泊行事でしたが、全員が大きなトラブルもなく無事に帰ってくることができたことが一番の成功だと思います。林間学舎の3日間、いろんな先生方からたくさん話をしてもらいましたね。みなさんとより良い学年を作っていきたいという気持ちを伝えてきたつもりです。実際に、初日から比べると、2日目、3日目とみんなの気持ちが前向きに、そして少しずつお互いに気をつかっていくことができましたね。先生はみなさんの成長を見ていてすごくうれしかったです。

班別の活動に目をうつすと、オリエンテーリングではしんどい班メンバーの荷物を持つ仲間がいたり、励まし合ったりする仲間がいるなど、多くの班が自分たちで協力することができていたと思います。しかし、残念ながら協力できなかった子もいましたね。全員が同じ方向を向いて動くことの大切さもこのオリエンテーリングで学ぶことができたと思います。次回以降の課題として、しっかりとできるようにしなければいいなと思います。

学年として、まだまだ足りない部分もたくさんあります。しかし、この林間学舎を通してできるようになったこともたくさんあります。林間学舎で終わることなく、今後の学校生活に活かすことができればより良い学年へとつながると思います。これからあなた達と先生達と共に頑張りましょう。

※林間学舎では様々なクラス対抗行事がありました。その結果を報告します。

## 《オリエンテーリング》

### クラス部門

優勝：5組  
準優勝：1組  
第3位：2組

### 班部門

優勝：1組4班  
準優勝：5組1班  
第3位：1組1班  
2組5班

## 《大縄大会》

優勝：5組  
準優勝：4組  
第3位：3組

## 《大声大会》

優勝：5組  
準優勝：4組  
第3位：2組

どの行事においてもみなさんの前向きさが発揮され、楽しいひとときを過ごすことができました。成功の裏には、各係の学年委員、班長・風紀委員や保体委員の準備があります。また、毎回の食事のお世話をしてくれた給食委員や係、お風呂や清掃を担ってくれた美化委員、しおりや事前学習に取り組んだ学習委員と陰になり日向になり活躍するみなさんがいたことを忘れてはいけません。もちろん、3日間支えてくださった万両さんへの感謝の気持ちは忘れないように。

このように、みなさん1人1人が責任を果たすことが、自分たちの手で行事を作っていくことになります。ここでの経験をこれからのにつなげていきましょう。

お疲れ様でした  
ゴールはいた通過点

